

令和5年度 学校基本統計 学校基本調査の結果確報（要約） <香川県分>

令和5年8月23日に速報値を公表しましたが、今回、確報<香川県分>がまとまりましたので公表します。速報値の公表から数値の変更はありません。

I 調査の目的

学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的として、昭和23年度から文部科学省が毎年実施している基幹統計調査です。

II 調査の期日

令和5年5月1日

III 調査結果の概要

速報時の公表内容（学校数・生徒数・教員数等）に加え、確報で新たに公表された内容を合わせた詳細版は、下記URLに掲載しています。

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/tokei/kyoiku/kihon/2023kihon.html>

なお、確報で公表された主な結果は次のとおりです。

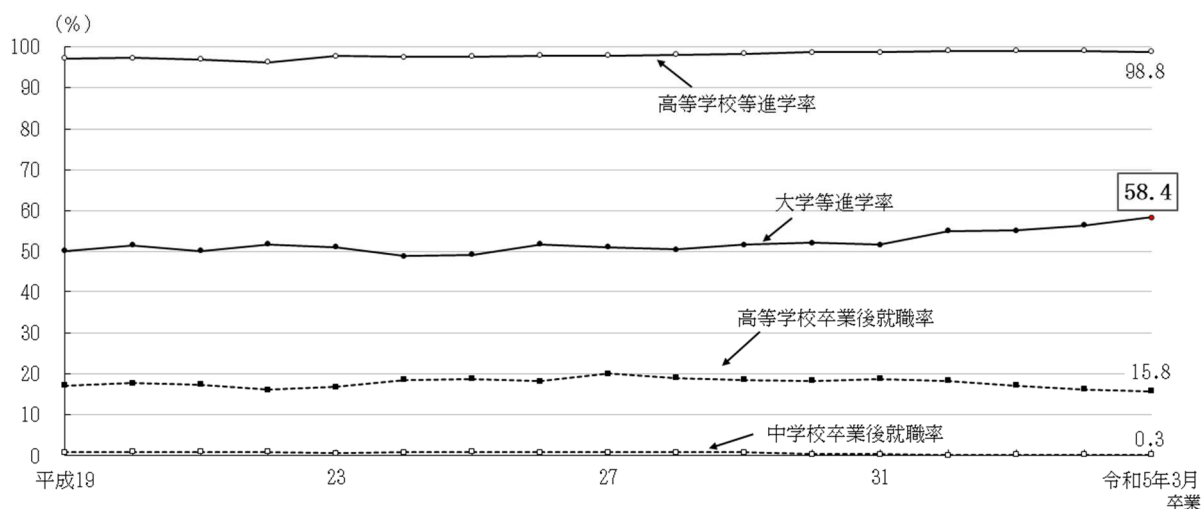
1 中学校卒業後の状況(図1)

- 高等学校等進学率は98.8%で、前年度より0.2ポイント低下している。全国平均は98.7%で、本県は全国第22位となっている。
- 就職率は0.3%で、前年度と同率となっている。

2 高等学校(全日制・定時制課程)卒業後の状況(既卒者を含まない。)

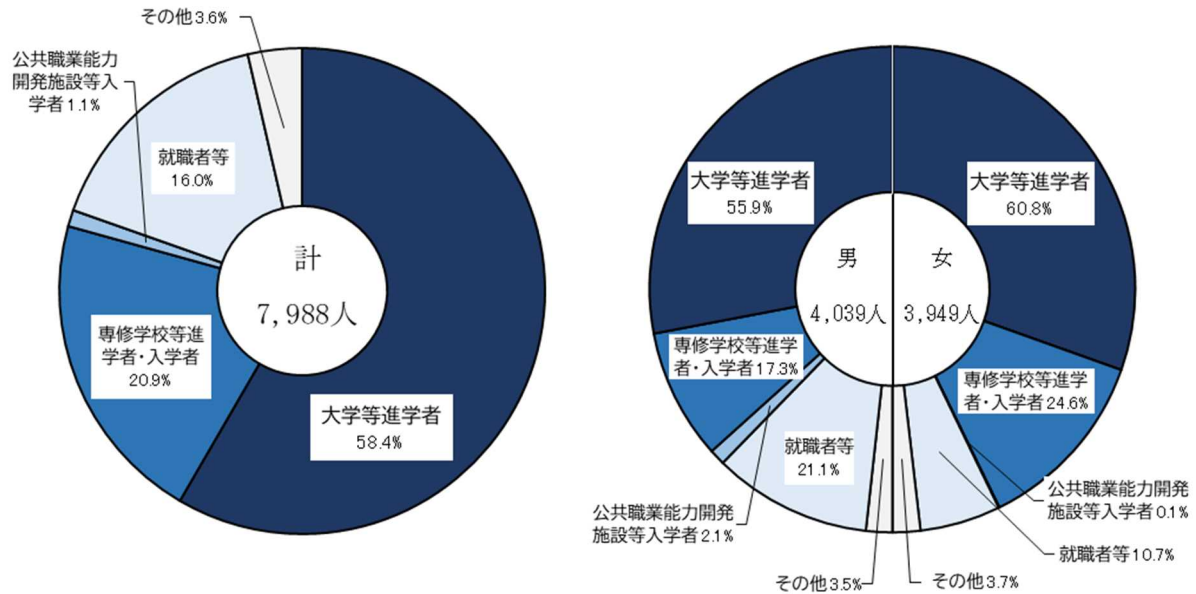
- 大学等進学率（短大等を含む。）は**58.4%（過去最高を更新）**で、前年度より1.9ポイント上昇している。全国平均は60.8%で、本県は全国第18位となっている。（図1）
- 就職率は15.8%で、前年度より0.4ポイント低下している。全国平均は14.2%で、本県は全国第30位となっている。（図1）
- 就職先を県内・県外別にみると、県内就職者1,078人（就職者数の85.2%）、県外就職者187人（同14.8%）となり、県内就職者の割合が前年度より2.6ポイント低下している。

図1 卒業後の状況の推移（中学校・高等学校）



- 高等学校卒業生 7,988 人のうち、進路別内訳をみると、大学等進学者 4,661 人、専修学校等進学者・入学者 1,670 人、公共職業能力開発施設等入学者 89 人、就職者等 1,278 人、その他 290 人となっている。(図 2)

図 2 高等学校卒業後の進路別構成比 (左：計、右：男女別)



【参考】 高等学校卒業生(既卒者を含む。)の大学所在地県別入学者数

- 総数は 5,031 人で、4,157 人 (82.6%) が県外に進学している。このうち、近畿地方が 36.1% と最も多く、関東・東海・近畿の三大都市圏で約半数を占めている。(図 3)

図 3 高等学校卒業生の大学所在地県別入学者数構成比

